

R2 年度 後期 始業式あいさつ

おはようございます。

臨時休業から始まった令和 2 年度ですが前半が終了し、今日から後期が始まります。9 月には文化祭や体育祭といった大きな学校行事がありました。泉陽生が自主的に考え行動した結果、記憶に残る文化祭や体育祭を開催することができました。前期はほんとうにあわただしく過ぎていきましたが、後期は落ち着いて授業や部活動に取り組んでほしいと思います。

まず、3 年生。これからの過ごし方が大学入試を大きく左右します。特に入試制度が変わる今年は、正しい情報を収集することが大切です。分からないこと、不安に思うことをそのままにしないで、担任や進路担当の先生のもとを訪ねましょう。また、推薦で進学先が早く決まる人、後期入試まで頑張る人それぞれです。355 人いれば 355 通りの進路実現の方法があります。周りに左右されず、自分でしっかり希望の進路をイメージして進んでください。

次に、2 年生。学校を中心となって、さまざまなことに取り組む存在となりました。授業だけでなく、部活動でも中心的な立場で活躍しています。また年明けには延期になった修学旅行があります。修学旅行委員を中心に、一生の思い出に残る手作りの旅を創り上げていきましょう。

そして、1 年生。泉陽生になってから半年が経ちました。自身が思い描いていた高校生活を過ごせていますか。友達や先生との関係は上手くいっていますか。上手くいっていなかったり、違和感を感じている人は、我慢せずに、思いを伝えてみましょう。我慢してストレスをため込むより、意外とスッキリする場合が多く、一歩近づいた関係を作れると思います。しっかり自己表現をしましょう！

今日は、「認知能力」と「非認知能力」について話します。学力テストなどで測定可能な認知能力に加えて、近年、IQ や学力テストには表れないすべての能力、集中力や自制心、やり遂げる力、モチベーションなどの非認知能力がクローズアップされています。ある心理学者は非認知能力が身につくとそれが土台となって認知能力を高めてくれると述べています。しかし、その逆の現象は見られないということです。

非認知能力には「自己の力」と「社会性の力」の 2 つがあります。「自己の力」には自尊心・自己肯定感・自己理解・自律心・自分を信じる力・自分が好きなど「自」の言葉が付くものが含まれます。それに対して「社会性」は、集団に溶け込み、その関係をうまく維持していく力で、共感・思いやり・協調性・決まりやルールなどの規範意識や道徳性などが含まれます。ポイントは両者の根底にはともに感情をコントロールするというキーワードが存在していることです。

よく考えてみると、クラスで様々な意見を出し合って創り上げた文化祭や、学年の枠を超えて団ごとにまとまりをみせた体育祭は、非認知能力を身につける絶好の機会でした。新たに身につけた非認知能力を土台にして、この秋は認知能力すなわち学力をさらに高めていきましょう。

これで後期始業式のあいさつを終わります。